

鷗朋会
第 54 回理事会議事録

日時 : 平成 23 年 10 月 4 日

場所 : 大阪府立大学 A6 棟会議室

参加者 : 炭田洋一、城野隆史、杉山和雄、吉久英昭、定兼廣行、増本彰、西田正孝、松本宏司、岩崎泰典、池田良穂、藤原利弘、三宅成司郎、大塚耕司、山田智貴、坪郷尚、片山徹、中谷直樹、新井励、松井敦、西原祥貴、大橋岳尋

資料 : 鷗朋会第 54 回理事会議事次第

片山理事より開会の辞

定兼会長より挨拶

議長選出 : 議長に岩崎副会長が提案され承認された

議 事

(1) 報告事項

a) 山田理事より以下のような平成 22 年度会計報告があり承認された。

○収入の項目

- ・当初、鷗朋会収入を 750 口と予定していた。しかし、会員への告知を掲載した平成 22 年度鷗朋の発送が例年より遅い 4 月となったため、収入が 606 口と現時点では減少している。しかしながら今後増えることが想定されるため、現時点で問題なく、今後の経過を注視していく。

○支出の項目

- ・振込手数料による支出は上記理由により鷗朋が次年度になったため減少した。
- ・会誌発送費およびそれに関わる会議費用を、工学部同窓会に負担してもらったため、通信費が当初計画より減少した。
- ・三宅編集委員長から、10 月末の鷗朋が発刊されるため、支出が増える可能性があるとの報告があった。

○その他

- ・城野理事より会計監査報告があり、適正に管理運営されていることが承認されたとの報告があった。
- b) 三宅編集委員長より編集委員会報告が以下のようにあった。
- ・三宅編集委員長より鷗朋 10 月末発刊予定の第 17 号の内容報告があった。
 - ・三宅編集委員長から、鷗朋へ積極的に記事および感想を送るように提案があった。
 - ・池田理事からサノヤスとの技術交流会も実施しているため、その内容を記事にすると

の報告があった。

(2) 協議事項

a) 新理事紹介

- ・新理事に増本彰（16期）、大橋岳尋、橋本翼（59期）が推薦され、承認された。
- ・城野理事から監事交代の依頼があり、吉久英昭理事が推薦され、承認された。

b) その他

- ・湯浅理事（大学11期）から理事の辞任依頼があった。理事の解任は理事会の承認が必要であるため、後任も含め今後協議することとなった。
- ・池田理事から、大阪府立大学改革にともなう海洋システム工学分野に関する改変内容が説明された。
- ・上記改革に伴い、来年、大塚理事が現代システム学域に移籍するため、海洋システム工学課程の教育から離れることが報告された。
- ・池田理事より、大阪府立大学創基130年の寄付について説明があった。

片山理事より、閉会の辞。

以上 文責 新井励